



きかは便郵



本下尚江

上州伊香保

七乙

三田一郎様

東京

巣鴨監獄署

七乙

造製局刷印

行發省信逓

71
6204
47



本日は小生のオ三十九回の誕生日に有之、ソ、ソに昨年の暮れを思い出して
中去年の明日は是れ携へて依地町の遠足會に赴き、昨日は
田中翁に導き、翁の山中の内宅を行き、昨日にて是れ暮れの日
景は又の記憶に如く、翁の山中に在る、翁の山中にて
人々の姿、遠くを望み、し、翁は依然として、谷中の水村に、昔、幼少
日、是れは、鉄道の下に、他日の準備に、汲たり、僕、独り、碌々、慚愧之
に、沿ふ、僕が、是れ、為る、常に、新り、所、の、ものは、内宅の、所、健なり、人、を
に、有之、夫、僕も、十月一日に、一、小、雑談を、發行、あり、計畫、なり、如何、なり、
もの、か、出来、るか、出、て、なり、日、なり、は、自身に、斗、え、り、五、銭、は、す、
山は、秋、氣、既に、深、く、あり、
九月八日